

ベストマスターズ大崎剛彦杯

STGマスターズ水泳大会の前大会会長でありました故大崎剛彦氏の功績を讃え、現在のベストマスターズ賞に変わって「ベストマスターズ大崎剛彦杯」を設定しました。同杯はその大会で最も優秀な個人成績をおさめた方を選出するため、連続しての受賞も可能となります。是非大崎剛彦杯を目指してください。

(選考基準)

全ての個人種目出場者を対象として、男子1名女子1名のベストスイマーに対し大崎剛彦杯を設定する。
☆大崎剛彦杯の選考は、マスターズ泳力資格表（日本SC協会指定）に基づき選出する。
☆マスターズ泳力資格級の点数合計の多い者を選出する。
☆合計点数が同じ場合（2人以上）、また出場種目が違う場合は、生年月日により高年齢者を優先する。
☆社員・スタッフもベストマスターズ大崎剛彦杯の対象となります。

	男 子	女 子
第70回	辻 憲 昭 (エス・パティオ)	安 田 伸 子 (K S C 寝屋川)
第71回	中 谷 等 (K S C 千里)	木 村 文 子 (アイ・マーレ)
第72回	小 西 千 年 (アイ・マーレ)	須 山 とめ子 (K S C タナベ)
第73回	? ? ? ?	? ? ? ?

創設者 大崎剛彦

石川県輪島市出身。

石川県立金沢泉丘高等学校、早稲田大学商学部卒業。

同大在学時の1960年ローマオリンピック代表に選出され男子200m平泳ぎで銀メダル、男子4×100mメドレーリレーで銅メダルを獲得した。

1959年と1960年に日本選手権水泳競技大会男子200m平泳ぎを連覇した。

同大卒業後は倉敷レイヨン（現・クラレ）で活躍。1973

年に社会体育開発研究所を設立。現役引退後もマスターズ選手として泳ぎ続け、国際水泳殿堂（英語版）（マスターズ部門）入りを果たしたほか、日本マスターズ水泳協会会長（1992年 - 2014年）や日本水泳連盟理事も務める。

